

小学校 社会科におけるICT活用

新聞づくり（歴史学習）

【活動の流れ】

児童・生徒	教師
教科書・資料集・インターネット資料・動画などから、自分で調べやすい資料を決めて情報収集を行う。	単元における大きな発問 パフォーマンス課題を提示する パフォーマンス課題 【歴史新聞記者、下学年へのプレゼン、観点ごとにクラス内でプレゼン等】
集まった資料をワークシートで整理し、発表の準備をする。	情報収集のための資料を提示。 整理分析のためのワークシートの用意。
まとめ表現では、スライドでのプレゼン大会や、ドキュメントシートでの新聞作りを行う。	新聞作りをしているときに、ワークシートのチェックを行い、児童の学習の様子を把握する。

【活用するアプリケーションソフトウェアや機能】

- Google スライド
- Googleスプレッドシート
- Googleドキュメント
(ミライシード：オクリンク)

【ICT活用の利点】

共同編集は様々な場面で有効に活用できる。特に観点別の調べ学習などでは、班員で分担し、自分の調べたものを班員に伝えることで、インプットアウトプットが短時間でできる。個人でも年間を通してスプレッドシートを用いて多面的なまとめを実施する。増えていく情報に達成感を持てるのが期待できる。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O			
1、縄文時代			2、弥生時代			3、古墳時代			4、飛鳥時代			5					
【応用】算数の差があまりなかった。みんな分けていい、みんな決めて。リーダーの陣人はない。集団の中で、自分ができることを自分でできる範囲でやっていた。自分の差は認めなかった。			【応用】指導者がいる。お米をめぐる争い。儀式をしている。(古い)争いを繰り返して強い指導者が家族になる。さらにすごい人は王になる。邪馬台国の女王卑弥呼。			【応用】天和銅柱という、大きな古物があった。			【応用】聖徳太子は、聖徳太子よりの力を得たので、天皇の中の地位を目標とした。聖徳太子は、位を表す階級十二階や、十七歳の歳法などを定めた。聖徳は、あくまでも心構えで、今の聖徳太子の考えではなく強制的ではなかった。			【応用】藤原氏という一人の家族が、天皇を兼ねるほどの力を得た。天皇の言うことを聞かなくなった藤原氏。その様子を見た、中大兄皇子と中大兄皇子は、二人で藤原氏を倒す計画をし、藤原氏を倒した。二人は、聖徳太子とその二人を中心に聖徳太子の考えを受け継ぎ、大化の改新(あたらしい国づくり)を始めた。			【応用】藤原氏という一人の家族が、天皇を兼ねるほどの力を得た。天皇の言うことを聞かなくなった藤原氏。その様子を見た、中大兄皇子と中大兄皇子は、二人で藤原氏を倒す計画をし、藤原氏を倒した。二人は、聖徳太子とその二人を中心に聖徳太子の考えを受け継ぎ、大化の改新(あたらしい国づくり)を始めた。		
【生活】木の葉、魚を釣る。かり、蟹、穴住居、みんなで建てて、貝殻、食べ物が毎日取れるとは限らない。			【生活】米作りが始まった。どんどこんどの家が建てられている。持ち運びにくい。貯をしている人がいる。屋根から水が出てくる。田んぼ作り。水路ができています。道ができています。稲が稲刈り。			【生活】東北から九州まで、たくさんのお寺があった。特に、関東地方などでは、多くの古墳が見つかった。			【生活】あたらしい国づくりが始まり、稲を食べてみるようになった。農民はお米と青葉のお汁、畑がなかった。逆に、青葉は全部食べられなくなる食材になるので、備蓄に暮らしていた。			【生活】あたらしい国づくりが始まり、稲を食べてみるようになった。農民はお米と青葉のお汁、畑がなかった。逆に、青葉は全部食べられなくなる食材になるので、備蓄に暮らしていた。					
【文化】縄文土器を作っていた。土器と違う人形かたなも作っていた。かんたんにつくれる道具を作っていた。			【文化】弥生土器を作っている。取手がない。取手がない人が取手をつけている。高床倉庫、物々交換。			【文化】自分の力をアピールするために、墓が大きければ大きいほど人を動かす力が大きい。渡来人に自分の国の文化や、焼き物、建築、大工工事などの技術を教わった。亡くなった人をその墓を守るために、ハニワを置いていた。			【文化】仏教をあつく信仰していた聖徳太子は、法隆寺などを建てて仏教を教える人々に広げようとした。			【文化】貴族の中で、中国から取り入れたハニワ、ガラスなど、中国風文化が貴族の中で流行っていた。					
【願い】安心して暮らしたい。毎日お米いっぱい食べたい。寒さをしのぎたい。船の安全。			【願い】兵士がいる。賞銀、お米を守りたい。ヤグラがある。稲が立ってある。稲が立つと、水、稲もみ、土地、道具、水、を奪い合う争いが起きていた。			【願い】人手が欲しい。もっと技術を知らりたい。			【願い】農作の効率が上がるといいと思う聖徳太子。			【願い】地味や短足、白濁など、怪しい人が居たり、聖徳太子はどしどしついででいいので、仏教に救いを求め、自分等の中心である聖徳太子に巨大な大仏を作り、国をおさめようとした。					

社会科調べ学習シート～願い～

番()

【問】大仏完成への道のりを調べよう

【人物】

【時期】

【場所】

大仏完成への道のり

【何のために】

【どのようにして】